

令和5年7月26日

関係各位

川崎市総合リハビリテーション推進センター  
聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

### 既存情報を利用した研究実施のお知らせ

このたび当センターでは、精神保健福祉法に基づく措置通報の対象となった高齢者に特徴的な問題を明らかにし、地域での支援に役立てるため、聖マリアンナ医科大学と共同研究を行います。本研究では、下記のとおり当センターが保有する既存資料を利用いたします。

研究課題名 「川崎市における措置通報の実態分析－高齢者に着目して－」

利用する既存資料 精神保健福祉法に基づく措置通報への対応業務で取得又は生成された情報

対象期間 平成27年4月1日～令和4年3月31日（通報受理日基準）

研究対象者 対象期間内に川崎市が受理した措置通報の対象者で、当時60歳以上の方

研究方法 下記のデータを用いて、措置通報に至る経緯、及び措置診察を経て医療機関等に入院又は通院となった後の転帰を調査し、疾患別に解析します。

利用するデータ 通報受理年月日・時刻、管轄警察署、年齢、性別、居住区、保険種別、自傷他害の内容、措置診察実施の有無、受入医療機関、診察年月日・時刻、診察時の診断、既往歴、現病歴、合併症、診察結果、入院形態、入院日、退院日、措置解除日、被通報者の背景情報

利用する者の範囲 聖マリアンナ医科大学（研究責任者：神経精神科 袖長 光知穂）

川崎市総合リハビリテーション推進センター（研究責任者：こころの健康課 石井 美緒）

研究実施期間 令和5年7月26日～令和8年3月31日

個人情報保護の方法 既存資料から本研究に必要な情報のみを抽出した解析用資料を作成します。

その際、氏名や生年月日などの個人情報を除き、無関係な符号を付けるデータ化を行います。

また、解析用資料は当センターから持ち出さず、聖マリアンナ医科大学所属の共同研究者も当センターに来所して作業を行います。解析用資料は、作業中以外は施錠保管します。

情報管理責任者 竹島 正（川崎市総合リハビリテーション推進センター）

その他 研究対象者に負担を求めるものではありません。また、謝礼等の提供もありません。

既存情報の研究への二次利用につきまして、御理解くださいますようお願いいたします。

研究成果は当センターのウェブサイト、学会、学術誌などで公表する予定です。

（情報の利用の停止を求める申し出など）

川崎市総合リハビリテーション推進センター

こころの健康課 精神科救急調整担当

電話：044-223-7226

メール：[40rikokor@city.kawasaki.jp](mailto:40rikokor@city.kawasaki.jp)

（研究に関する質問など）

聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

袖長光知穂

電話：044-977-8111

内線3202

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究代表機関 聖マリアンナ医科大学 神経精神科学

研究代表者 講師 袖長光知穂

共同研究機関 川崎市総合リハビリテーション推進センター

研究責任者 こころの健康課課長 石井美緒

機関の長 竹島正（川崎市総合リハビリテーション推進センター長）